



3月 えんだより



2026.3.2

あおぞらばれっと保育園



日増しに春の訪れを感じる季節となり、去年の4月からあっという間に1年が経ったように感じます。お子さんたちの成長を毎日身近で見守ることができ、職員一同、感謝の気持ちでいっぱいです。

そして3月9日（月）からは、いよいよ新しいクラスでの生活がスタートします。「新しいお部屋、楽しみだね!」と期待を膨らませる一方で、ドキドキしている子もいるかもしれません。

振り返れば、この1年間で子どもたちは心も体も本当にたくましく成長しました。乳児クラスでは、一歩二歩と歩けるようになったり、言葉でのやり取りが増えたり・・・そして「イヤイヤ!」や「自分で!」の最盛期を迎え、自分の意志を一生懸命に伝えようとする姿に、「心も体も、こんなに大きくなったんだな」と成長を感じる日々でした。

幼児クラスでは、友だちとの関わりが深まった分、気持ちの行き違いで悔しい思いや悲しい思いをすることもあったかと思えます。そうしてぶつかり合う中で、大人が間に入り、相手の思いを知り、気付けるようになり、時には子ども同士で解決したりしながら、相手を思いやる心や社会性を一歩ずつ学んできました。

しばらくは旧担任がメインで関わり、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、安心して過ごせるよう配慮してまいります。新年度に向けて、温かく見守っていただければ幸いです。

3月の予定

- ・3日（火）お茶のお稽古
- ・4日（水）誕生会
- ・5日（木）避難訓練
- ・9日（月）新年度スタート
- ・21日（土）卒園式
- ※アートと幼児クラスの遠足はクラスで掲示にてお知らせします



「てんとう虫」は太陽に向かう？

あたたかくなると、園庭の草花の間からひょっこりと顔を出す虫たちがいます。その中でも、子どもたちに大人気のてんとう虫。このてんとう虫、実はとても素敵なお名前由来があるのをご存知でしょうか。

てんとう虫は、指先や枝の先まで登りつめると、太陽に向かってパツと羽を広げて飛び立ちます。その様子が、太陽（お天道様）に向かっていくように見えたことから「お天道様の虫=てんとう虫」と呼ばれるようになったとされています。

ちなみに、てんとう虫が体に止まると「近いうちに幸せがやってくる」という言い伝えもあるそうです。もしお子さんの帽子や肩にてんとう虫が止まっていたら、それは「新しいクラスでも、楽しい毎日になるよ♪」という、幸せの合図かもしれませんね。

